



第 17 号
2024 年
12 月 22 日

教会訪問記

北関東教区 水戸聖ステパノ教会

東京教区 聖マーガレット教会

ロザリア 福永典子

11月30日(土)、雲一つない秋晴れの空のもと、16回目の巡礼企画は水戸の教会訪問でした。21名の参加者は水戸の教会の方々に温かく迎えられ、美しいステンドグラスの光が降り注ぐ礼拝堂に集いました。

120年前に宣教師により伝道が開始され、現在まで数多くの方が信仰をつないでこられた教会の歴史についての話を伺いました。戦災時は空襲で教会は焼失し、新しい教会を再建するために信徒の方々がバザーを何度も行い資金を集めたそうです。困難な中でも宣教の歩みを止めることなく教会を維持されてきた当時の方々の信仰の深さを感じました。

また、併設する愛恩幼稚園は、園舎焼失後も保育者のご自宅を使って保育を続けてこられたとのこと、私自身幼稚園で働く者として頭が下がる思いがしました。

東日本大震災では、鐘楼が途中で折れ、祭壇の

正面にあった黒御影石の壁も崩れ落ちてしまったそうです。ぐにやりと曲がった燭台からは地震のすさまじさがわかりました。

午後は歴史ある水戸城址周辺を案内していただきました。黄色く色付いた銀杏並木と真青な空とのコントラストがなんとも美しい街並みを他教会の信徒同士おしゃべりをしながらゆっくり散策した後、夕の礼拝をささげてその日のプログラムを終えました。

実は水戸は私の出身教会であり卒園した幼稚園です。よく知っているはずなのに今回はじめて知ったことも沢山ありました。ふるさとの魅力再発見と自分の信仰の原点を振り返る素敵な一日となりました。巡礼という機会は今ままで知らなかった教会や地域の魅力に出会い、新しいつながりが生まれる喜びを味わうことができ企画です。是非皆さまも参加してみてくださいいかがでしょうか。

人間の思惑を超える力を感じるひととき

司祭ヤコブ荻原 充

12月7日(土)、北関東教区・東京教区宣教協働企画として、昨年と同様に毛呂山聖霊教会のマルコ高橋四郎さんの畑で、9月に種まきした大根の収穫をさせていただきました。収穫した大根は、フード・パントリー活動をしている「東京子ども子育て応援団」、インマヌエル新生教会、聖マーガレット教会、大宮聖愛教会にお届けすることができました。

毛呂山聖霊教会管理牧師の鈴木伸明司祭にご協力いただきながら、東京教区からは3名、北関東教区から2名の参加者と、私を含むスタッフ4名で大根の収穫と洗う作業を行いました。今回は5名の方に参加していただいたおかげで、あっという間に作業を終えることができました。この日初めて出会う仲間と共に、多くの会話を交わすことはなくとも大根の収穫作業を「協働」して行うことができました。

今年は夏の暑さが長く続きましたので、小ぶりの大根も多く見られました。それでも一粒の種が一本の大根へと成長する。農作業をされている方々や自然と共に生きている方々にとっては当たり前のことでしょうが、東京生まれ東京育ちの私にとっては、土に触れ、種をまき、収穫する。これらを通して、人間の思惑を超えた自然の大きいなる力を

★次回巡礼企画のご案内★

東京教区 真光教会

日時：1月25日(土)

見どころ：教区で最も歴史ある教会。深川から町田に移転した宣教からの学び。

申し込み：1月19日 締切

junreiteam@googlegroups.com



巡礼チームブログ

改めて感じるとともに、天候が不順であっても大地の実りが与えられることに感謝するひとときになったと思います。大根とともに、いろいろな意味において「収穫」と呼べるものが多く得られた恵みの機会となりました。大根を丹精込めて育てていただいた高橋四郎さん、毛呂山聖霊教会の皆さま、また大根を洗う場所をお貸しいただいた毛呂山愛仕幼稚園の皆さまに改めて感謝申し上げます。



収穫の喜びを手に 記念撮影！

北関東・東京教区

「新教区設立への道」の現在地③

宣教協働特別委員会 司祭 齋藤徹

11月にそれぞれの教区で開催された秋の定期教区会において、『北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会』規則を一部変更する件が審議され、承認されました。これにより、宣教協働特別委員会に宣教、教務、給与検討の3つの小委員会が新設されました。これに既設の財政小委員会を加えた4つの小委員会を「新教区設立 実務チーム」と位置付け、具体的な取り組みをなしていきます。また、宣教協働特別委員会は、両教区の常置委員、教務所主事、教区事務所総主事で構成し、円滑な情報共有と協議を進めていくこととなります。

10月5日、11月29日には、両教区合同教役者会が開かれ、新教区の財政面、宣教面での体制案について担当の小委員会から説明があり、教役者からのヒアリングの機会となりました。

教区の財政面では、人件費が大きな割合を占めます。ここに教役者給与については、両教区での取り扱いに相違があり、「ひとつ」にすることは容易ではありません。段階的に一本化するのか、一度に「ひとつ」にするのか、そのための施策を対話的に構築しようとしていきたいと思います。

宣教面では、これからの教会・教区の共同体がどのようにあるかとするのか、様々な機会を通して対話を重ねています。

繰り返してお伝えしていますが、すべての課題をクリアして新教区設立を迎えることは困難です。新教区設立後に定めなければならないことが多々あります。

変革には悩み苦しみがありますが、これからも私たちが「神の器」であるために、「人事を尽くして天命を待つ」時を歩んでいるのだと感じています。

きょうどう川柳

本番の 台詞堂々 マリアさま

風呂敷の ターバン似合う 博士さん

キューピーさん 今日馬槽で イエスさま

『きょうどう通信』へおたよりをお寄せください。宣教協働へのご意見・ご質問は下記メールアドレスまで。ご意見は「特別委員会」で共有しますが、掲載できませんが、ご了承ください。「早春」をテーマにした俳句・川柳もお待ちしております。俳号・匿名どちらでも可です。
kouhou.k.t@gmail.com

『きょうどう通信』第17号

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

広報小委員会